

朝採り新鮮!

イチジク出荷最盛期 6次産業化で農家所得の向上へ



JAあいち尾東の特産品 朝採りイチジク

JAあいち尾東(日進市/代表理事組合長:石黒秀一)管内のイチジク出荷がピークを迎えています。管内ではイチジク部会が活動しており、各会員の圃場巡回や剪定講習会などを部会員が率先して計画し、自己啓発に励みながら良質なイチジクを栽培しています。今年度も出荷会議・目ぞろえ会を終え、8月中旬~10月下旬頃まで朝採りイチジクの出荷を行います。

東郷いちじく分科会 概要

- 【会員数】7名
- 【品種】柘井ドーフィン
- 【出荷形態】共同出荷
- 【出荷量】11.175トン(R2実績)
- 【主な出荷先】
 - ◆丸果(株)高岡市場(富山県高岡市)
 - ◆(株)モンシエール(洋菓子店)
 - ◆③Orchard:サニーオーチャード(フルーツビストロ)
 - ◆イトーヨーカドー青果コーナー(管内店舗)



JAあいち尾東と東郷いちじく分科会の取り組み

JAあいち尾東と東郷いちじく分科会は、イチジクの圃場を守るため、新規就農者を受け入れています。R2年度は廃業する生産者の圃場を貸出農地として公募を行い、新たな担い手1名を迎えました。圃場を新規就農者に受け継ぐことで作付面積を維持し出荷量の確保に努めています。

また、イチジク生産の盛んな愛知県内他産地との出荷の競合を避けるため、独自の販路確立・拡大に努めています。

①丸果(株)高岡市場

北陸地方への愛知県産イチジクの出荷はあまりないことから、平成17年より取引を開始しました。

②(株)モンシエール

規格外品を活用した商品の開発に賛同していただき、当JAの特産品 プチヴェール®を使ってプチヴェール®カステラを共同開発したことをきっかけに取引が始まりました。その後平成30年よりイチジクをはじめとする農産物の定期出荷を開始しました。

取引実績:イチジク(イチジクロール)、シャインマスカット(シャインマスカットロール)、白桃(白桃パフェ)ほか

③サニーオーチャード(ららぽーと愛知東郷内)・イトーヨーカドー(プライムツリー赤池)

地元ショッピングモールのオープンから取引を開始しました。店舗が当JA管内にあるため、市場出荷をしない完熟のイチジクを産地直送で出荷しています。



6次産業の取り組み

出荷できない規格外品や廃棄品を商品化する6次産業へのニーズが高まっていることから、平成30年8月『JAあいち尾東農産物加工所』を開設しました。規格外品をJAで買い取り、ドライ製品の製造・加工を行い、管内グリーンセンターはじめ洋菓子店、パン屋等に販売しています。また、生産者から依頼を受け加工品に製造して納品し、生産者がオリジナルブランドとして販売する加工委託作業も行っています。

R2年度は、出荷できない規格外品2トンのうち、250キロをJAで買い取り、ジャム・ドライイチジクに加工しました。



生産者からの依頼により、桃ジャムに加工して納品しています。

農福連携の取り組み

農福連携の取り組みとしてJAあいち尾東農産物加工所(瀬戸市山口町)での作業を就労継続支援B型事務所「NPO法人ふうえん」と連携し、年間を通して障がい者の方を加工作業員として派遣していただいています。

イチジクでは、ジャム加工業者に引き渡すための検品や下処理(切り落としなど)、またドライイチジクに加工する乾燥作業などを担当していただいています。



《取材にお越しいただける際は必ずご一報ください》

◆東郷イチジク分科会

・収穫作業(午前5時頃～)

場所:各生産者圃場

・出荷作業(午後4時頃～)

場所:JAあいち尾東南部営農センター東郷事務所

※取材日応相談

◆JAあいち尾東農産物加工所(瀬戸市山口町)

・加工作業(火・金)10:00～15:00

作業の様子撮影、取材等お受けいたします

※時期により NPO 法人ふうえんに作業委託していない場合があります。

<連絡先>JAあいち尾東総合企画課 担当:中川

TEL 0561-56-0080 FAX 0561-72-8151

Email kikaku@jaab.or.jp

JAあいち尾東



いなほちゃん おにぎりくん